

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	終花-ひいらぎのはな-		
○保護者評価実施期間	26年2月20日		～ 26年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数) 33名(内双子のご兄弟様あり)
○従業者評価実施期間	26年1月15日		～ 26年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	26年4月13日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	丁寧な構造化(時間的構造化・物理的構造化・視覚的構造化) 定めたスケジュールを崩さない事前準備	その日の流れはタイムスケジュールを大きく提示している。 レクリエーションの内容を写真と文章で細やかに説明した工程表を作成し、ご利用日前日に利用者様にデータで送信・当日は紙媒体でお渡しし、説明の時間を設けている。 スタッフがアラームをかけて時間通りに動けるようにしている。	無理のないスケジュールになっていないか、客観的な確認も行う。
2	保護者様へのLINEでのリマインド	提出書類などは締め切り前には必ずリマインドを行っている。 特別必要なものについては、1ヶ月以上前に事前にご案内をしている。 ご利用される前日に、プログラムと送迎の連絡をしており、当日もお迎えのご連絡をしている。 支援についても保護者様と連携して対応できることを模索している。	引き続き取り組むを続けると共に、支援については質を向上していけるようにしていく。
3	レクリエーションのバリエーションが多くお子様が楽しめる環境を提供している。	スタッフとは友達であり時には先生であるという距離感を大切に、まずは信頼関係を作ることを大切に行っている。 お子様にも行きたい場所ややってみたいことなどをお聞きして取り入れている。	引き続き行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	パートさんは若いスタッフが多く、保護者様対応への言葉選びが未熟になってしまうこと、学生のパートさんは卒業もあり、入れ替わりがあり環境の変化が多い。	ある程度の入替わりは仕方ないが、言葉選びなどは一定期間のサポートが必要。	現在も行っているが、学生パートさんにはできるだけ長く勤めてもらえるようにサポートしていき、利用者様には前もってつもり作りをしていく。 言葉遣いなどは、実際に行う前にデモンストレーションを行い確認していく。
2	保護者様交流の場を提供する機会が少ない。	保護者様同士での交流ができる場が、年一回の開催していたフェスだけであった。	保護者様や兄弟様も参加していただける参観日を作っていく、定期的に保護者様同士の関わりの場を提供していけるようにする。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	桜花-ひいらぎのはな-
------	-------------

公表日 令和8年4月 日

利用児童数 34

回収数 33(内双子のご兄弟様あり)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33				移転され、前よりもさらに広くなり十分すぎるスペースがあると思います。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	26	1		6	説明いただいているのだと思いますが、覚えていません。すみません。	人員配置については配置基準を満たすように考えている。今後は周知のためにもプリント配布を行う。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30			3	視覚で見れる情報などもたくさん提示されていて、とてもわかりやすいです。	玄関以外の箇所はバリアフリーとなっている。事業所内を紹介するプリントも作成して、契約者様ファイルを作り共有していく。現在、身体に障害のある利用者様はおられませんが、今後必要になる場合は改善に向けて対応もしていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30			3		同様にご契約いただいた方にわかるように事業所内を紹介のプリントを作成して契約者様ファイルを作り共有していく。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31			2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33				毎日違うプログラムだったり、季節毎の行事があり子どもが楽しみにしています	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	16	5	3	9	支援級在住のお子さまが半分以上とまわっており、放デイではゆっくりすることを求めているため、必要性を感じておりません。	現在、必要性を感じていないが、児童クラブや児童館との交流についてのご意見もあった場合は、対応していく。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	2		1		ご契約の際に説明しているが、初回のみ説明になっているため、繰り返しお伝えしていけるように対応していく。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	1		1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	3		9		ペアトレについては必要性を感じているが対応ができていない。スタッフの専門性を今後も高めていく事は行おうが、対応が難しく感じている。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていますか。	33					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われています か。	32	1				半年に一回の家族支援、定期的な参 観を行っている。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	32			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同 士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされている か。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだ い同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がさ れていますか。	15	4	3	11	フェスなどの参加を子どもが 喜んでました。	昨年は年一回のフェスのみとなっ てしまったが、今後は兄妹さんもご 参加いただけるプログラムを3月に行 った。 昨年よりは多く実施していけるよう に行っていく。 また周知についてももう一度見直し て行っていく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備さ れているとともに、こどもや保護者に対してそのような場がある ことについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ 適切に対応されていますか。	32			1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされ ていると思いますか。	32			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、 連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護 者に対して発信されていますか。	32			1	SNS楽しみにしてます！	写真や動画で投稿を行っている。 SNSのURLを発信していき活動につ いても周知していけるようにする。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32			1		個人情報はずき鍵付き書庫に保管し ている。保存期間が決まっているも のも期限が過ぎた場合はシュレッダ ー破棄を行っている。
非常時等の 対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯 マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周 知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施され ていますか。	31			2		契約時に口頭説明はしているが、一 度きりになってしまっているため、 今後、マニュアルを配布する予定。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他 必要な訓練が行われていますか。	33				写真でも様子を教えてくださり、 ありがたいです。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知さ れる等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると 思いますか。	33					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな 連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思 いますか。	33				ささいなことでもすぐにLINEを くださり、たすかります。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	33					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	31	2				
	29	事業所の支援に満足していますか。	33				いつも本当にありがとうございます。 いつも寄り添った対応 ありがとうございます。 いつもありがとうございます！！	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	柘花・ひいらぎのはな-		公表日		令和8年 4月 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		活動スペースや勉強するスペースなど物理的な構造化をしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		新しいスタッフが入った場合は、教育のために配置を多めにしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		体幹の弱いお子様には手を繋ぐなどの補助を行っている。	身体に障がいをお持ちの方がいない。今後ご利用がある場合は検討していく必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日、掃除と次亜塩素酸での消毒も行なっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		必要な場合は行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		会議資料も作成して職員間で共有している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		年に1回アンケートをとってご意見をいただき、改善策を考えて実行している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		日々のカンファレンスや個別でも意見を聞く機会を作り、改善の必要があることを職員全員で話し合っており取り組んでいる。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1		外部のアドバイザーをお招きして研修を行った際に、相談させていただくこともあるが多く機会は持っていないため、今後も機会を多く持てるようにしていく必要がある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		主に事例検討を用いながら、支援の意見交換や相談などを行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4			アセスメントのお時間はお取りしており、必要な方は事業所での面談も実施しているが、より専門的な分析については今後も学んでいく必要がある。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		日々のカンファレンスや全体会議で話し合いを行なっている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		日々の個別カンファレンスで共有をして、計画に基づいた対応も共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		プログラムが一定にならないように話し合いもしながら行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		ご利用者様の状況を見ながら適宜修正しながら行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		支援前に必ず個別カンファレンスを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		チャットツールを用いて共有、また次の日のカンファレンスで話し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		記録を撮る際はその子のストレングスに注目しながら行い、活かせるような改善策を考えている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		職員間で話し合いながら行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		組み合わせ方も環境に応じて変えながら行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		お子様一人一人の特性に応じて、その強みが現れやすい環境調整を行なっている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		参加する職員も他の職員から様子を聞き取り臨むようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			今後整えていく予定。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		アプリやメールなどで共有を受けている。またトラブルがあった際は、電話で迅速に連絡を取っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		可能な限り行なっている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		保護者様や事業所から要望があればします。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		外部研修に参加したり、アドバイザーをお招きして研修会を行なっている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		現在、必要とされている方がいらっしゃらないため、要望があれば対応していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時にご様子をお伝えすると共に、定期的にも長くお話しできる時間を設けている。また必要な場合は、そのお時間も設けている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		連絡ツールで文面にも残しながら、口頭でも説明を行なっている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている	4		定期的話し合う場を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		必要な場合は、事業所による相談支援も行なっている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		年に一回保護者様、ご兄妹を含めた全体でのフェスをこなしている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		職員間ですぐに共有をし会議を行い、保護者様に謝罪と今後の対応についてお話しするようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		月1回ひらぎのはな通信にて活動の報告をしたり、SNSでも随時レクリエーションの様子など発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		鍵付きの書庫に必ず保管するようにしている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		LINEにてご利用日の前日に、プログラム内容や送迎担当者をお知らせし、提出物の締め切りのリマインドも行っている。また、ご連絡のバイパスをスムーズにするために日頃の様子をお写真付きでお伝えするようにしている。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		年に2回ほど地域の方をお招きして粘土教室を行っており、ふれあいの場を作っている。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		訓練を行なった際は、必ず全保護者様にご様子のお写真と共にLINEにてご連絡をさせて頂いております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		年間スケジュールを作成して、それを元に行なっている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		プロフィールシートにも記載欄を作り、職員も確認を行なっている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		事前にお伺いをし、提供しないようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		月一回行う社内研修で共有している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		起こった際は連絡ツールにて共有をしている。また、再発防止のため職員間でも話し合	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		月1回の社内研修にて行なっている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		社内研修で全職員に共有して、共通認識を持って行なっている。		